

令和六年度麻生文化祭参加

第四十回吟詠大会



とき 令和6年11月3日(日) 午後1時 開会

ところ 麻生文化センター大会議室

一、修 礼
 一、国歌斉唱
 一、開会の辞

聖吟会 福元 岳翔

第一部

(順不同)

「吟 題」	「作 者」	「所属会名」	「吟 者」	「本数」
一 海南行	細川頼之	聖吟会	長山 文子	
二 九月十日	菅原道真	吟道秀風会	延原 江水	七
三 九月十三夜	上杉謙信	吟道秀風会	鈴木 清水	七
四 花光水上に泛ぶ	菅原文時	聖吟会	萩原 和夫	
五 潮頭	徳富蘇峰	岳窓会	皆川 幹岳	水三
六 不識庵機山を撃つの図に題す	頼山陽	吟道秀風会	池田 勸水	三
七 廬山の瀑布を望む	李 白	聖吟会	斉藤 晴美	
八 江南の春	杜 牧	吟道秀風会	千屋 惠水	七
九 白鳥は	若山牧水	岳窓会	田中 弘岳	五
十 常盤弧を抱くの図	梁川星巖	聖吟会	新明 征泉	
十一 山 行	杜 牧	吟道秀風会	宮田 石流	二
十二 寒 梅	新島襄	吟道秀風会	佐藤 緑流	三
十三 九月十三夜	上杉謙信	聖吟会	室岡 芳山	
十四 静夜思	李 白	吟道秀風会	山内 貞流	二
十五 柿本朝臣人麿の歌一種	柿本人麿	岳窓会	山田 星岳	五
十六 山 行	杜 牧	吟道秀風会	澤井 白流	七
十七 一声の仁	西郷南洲	吟道秀風会	高橋 健流	二
十八 武野の晴月	林 羅山	聖吟会	石原 基岳	
十九 洞庭に遊ぶ	李 白	吟道秀風会	渥美 謡雲	三
二十 楓橋夜泊	張 繼	岳窓会	邊見 俊岳	三
二十一 海南行	細川頼之	聖吟会	田又 翠葉	
二十二 春日山懐古	大槻磐溪	吟道秀風会	中村 遼雲	三
二十三 九月十三夜	上杉謙信	聖吟会	羽田 麗花	
二十四 春夜洛城に笛を聞く	李 白	吟道秀風会	及川 光雲	六
二十五 祇園精舎の一節		聖吟会	小坂 樂旒	
二十六 舟中子規を聞く	城野静軒	吟道秀風会	守屋 英秀	七
二十七 山中問答	李 白	聖吟会	正岡 岳蛟	
二十八 春日の作	新井白石	吟道秀風会	細田 尚秀	七

二十九	「和歌」酒	若山牧水	吟道秀風会	原	秀楠	三
三十	(俳諧歌二題) 翌もあり、直なるも	一茶	岳窓会	北川	岳瑋	水一

(休 憩)

式 典

一、各会代表者紹介

一、 挨拶 拶 吟道秀風会 原 秀楠

第二部

「吟 題」	「作 者」	「所属会名」	「吟 者」	「本数」
-------	-------	--------	-------	------

三十一	「和歌」心なき	西行法師	吟道秀風会	佐山	紅秀	七
-----	---------	------	-------	----	----	---

三十二	不識庵機山を撃つの図に題す	頼山陽	聖吟会	田又	翠葉	
-----	---------------	-----	-----	----	----	--

三十三	折楊柳	楊巨源	岳窓会	皆川	幹岳	水三
-----	-----	-----	-----	----	----	----

三十四	京に入る使いに逢う	岑 参	吟道秀風会	福島	櫻秀	七
-----	-----------	-----	-------	----	----	---

三十五	春日山懐古	大槻磐溪	聖吟会	羽田	麗花	
-----	-------	------	-----	----	----	--

三十六	春 夜	蘇 軾	岳窓会	田中	弘岳	五
-----	-----	-----	-----	----	----	---

三十七	涼州詞	王 翰	吟道秀風会	池田	勸水	三
-----	-----	-----	-------	----	----	---

三十八	峨眉山月の歌	李 白	吟道秀風会	三橋	藤秀	七
-----	--------	-----	-------	----	----	---

三十九	「連吟」山中の月	真山氏	聖吟会	新明	征泉	
-----	----------	-----	-----	----	----	--

四十	睡起偶成	王陽明	吟道秀風会	渥美	謡雲	三
----	------	-----	-------	----	----	---

四十一	海南行	細川頼之	聖吟会	萩原	和夫	
-----	-----	------	-----	----	----	--

四十二	山行同士に示す	草場佩川	吟道秀風会	中村	遼雲	三
-----	---------	------	-------	----	----	---

四十三	江 雪	柳宗元	岳窓会	山田	星岳	五
-----	-----	-----	-----	----	----	---

四十四	「舞蹈」静の舞		聖吟会	齐藤	晴美	
-----	---------	--	-----	----	----	--

四十五	「合吟」富士山	石川丈山	吟道秀風会	高橋	健流	二
-----	---------	------	-------	----	----	---

山内	貞流
佐藤	緑流
宮田	石流

〔吟 題〕

四十六 易水の送別
四十七 「合吟」 夜墨水を下る

〔作者〕

駱賓王
服部南郭

〔所属会名〕

聖吟会
吟道秀風会

〔吟者〕

室岡 芳山
細田 尚秀
鈴木 清水
延原 江水

〔本数〕

七

四十八 城 山

四十九 後夜仏法僧鳥を聞く

西道仙

聖吟会

石原 基岳

空 海

岳窓会

邊見 俊岳

三

五十 「合吟」 鶴鶴楼に登る

王之換

吟道秀風会

福島 櫻秀

七

五十一 白虎隊

五十二 「合吟」 月夜荒城の曲を聞く

佐原盛純

聖吟会

小坂 樂旒

水野豊洲

(舞)

関貫 董子

七

(舞と吟)

吟道秀風会(吟)

三橋 藤秀

七

五十三 「舞踊」 よろこびの舞

五十四 無 心

良 寛

聖吟会

正岡 岳峻

聖吟会

瑞扇 玉香

七

各会代表者吟詠

〔吟 題〕

五十五 「和歌」 わが身ありとは

五十六 (俳諧歌二題)
老の身は、おなじ心を

〔作者〕

梅田雲濱

〔所属会名〕

吟道秀風会

〔吟者〕

原 秀楠

〔本数〕

三

一 茶

岳窓会

北川 岳瑋

水一

一、閉会の辞

岳窓会

北川

岳瑋

当日の役割

一、司会、進行

吟道秀風会

一、受 付

(公社) 日本詩吟学院聖吟会

一、舞 台

(公社) 日本吟道学院岳窓会

一、会 場

各会合同